

**神田日勝** 異彩の画家。幼時に北海道の十勝に入植、開拓とともに絵に徹し、生き様そのままの未完の傑作「馬」を遺して早世。

かんだにっしょう

**日中戦争始**・1937 = 東京市板橋区練馬で、群馬県で衣料品繊維工場に勤める神田要一の次男に生まれる。母は八ナ。戦争に日本が勝つと日勝と名付けられる。長姉の奈美子、兄の一明、次姉の登美子がおり、妹の幸枝が誕生する。

**日米開戦**・1941 = 4歳 :

年金+総武装 1944 = 7歳 : 練馬開進第二国民学校に入学。

**敗戦**・1945 = 8歳 : 練馬を逃れるため、一家で"拓北農兵隊"に加わり、北海道鹿追村に到着した翌日終戦。ケテクウシ区画外の5ヘクタールの開拓用地に入植。笹川小学校2年に編入する。父は現金収入を得るため鹿追郵便局に配達員として勤務しながら、一家で慣れない開拓生活。

新憲法公布・1946 = 9歳 : 父の留守中に、半地下式住宅が失火で全焼、その北側に住宅を再建する。

**朝鮮戦争始**・1950 = 13歳 : 鹿追中学校に入学。帯広柏葉高校に進み美術部に入った3つ上の兄一明の影響受け、美術部の創部に参加。

**独立回復**・1951 = 14歳 :

**メデー事件**・1952 = 15歳 : 兄による油絵の指導と影響以外は、独学で、農業に従事しながら、農耕馬や牛なども含め、身近な生活を題材に、魂を込めるためか、キャンバス代わりにベニヤ板を、絵筆代わりにペインティングナイフを用い、一塗一塗力強いタッチで、画面を順に埋めて行くような方法を開発し、リアルに描いて行く。

**TV放送始**・1953 = 16歳 : '特に美術に優れていた'という賞状を授かって卒業、兄とともに、東京芸術大学を目指すも、家庭の事情を知り、高校進学をも諦めて、家業を継ぎ、

**55年体制始**・1955 = 18歳 : 兄が奨学金を得、授業料も免除で、東京芸術大学に進学するなか、通信教育の野幌高等酪農学校に入学。

**国連加盟**・1956 = 19歳 : 兄が、芸大の学生比呂子と学生結婚。地元帯広の第31回平原社公募展に「瘦馬」を初出品し、朝日奨励賞。

**なべ底不況**・1957 = 20歳 : 第32回平原社展に「馬」を出品、同展最高賞の平原社賞、

**イヌオトラメ**・1958 = 21歳 : 兄が芸大を卒業した年に、卒業。鹿追村連合青年団主催の芸能発表大会演劇の部で2年連続演技賞、十勝連合青年団主催の演劇発表会で、「山麓の人々」が脚本賞、弁論大会や陸上大会でも活躍するなど多才ぶりを示すも、次第に絵画に情熱を傾けるようになる。

**美智子妃**・1959 = 22歳 : 兄が行動展に初出品して初入賞。第34回平原社展会員推挙。笹川敬農青年団の団長を務め、開拓農協の指導により乳牛を導入するなど、農業も手を抜かないものの、農民画家と言われることを嫌い、自分のことを「画家であり、農家である」と区別した。

**安保闘争**・1960 = 23歳 : 第15回全道美術協会展(全道展)で「家」が初入選、この時、兄が市教育長賞、その妻が彫刻で道知事賞、

**タイタイ病始**・1961 = 24歳 : 続く第16回全道展で「ゴミ箱」が北海道知事賞、兄も北海道教育長賞、その妻は同展の会友推挙となって、兄弟が注目を浴びる。

**全国総合計画**1962 = 25歳 : 高野ミサ子と結婚。北海道新人作家選抜美術展に「ゴミ箱」を出品。第17回全道展で「人」が入選。

**TV宇宙中継始**1963 = 26歳 : 第1回帯広美術協会展の創立に参加し、「人A(板・足・頭)」「人B」を出品。第18回全道展に「三人(板・足・頭)」を出品。帯広市民劇場発足フェスティバルに「飯場の風景」を出品。

**東京初光**・1964 = 27歳 : 大冷害の影響で農村の過疎化が進行、離農跡地の交換分合により畑の総面積が14ヘクタールに増加。長男哲哉誕生。虫垂炎で鹿追町立健康保険病院に入院。第19回全道展に「飯場の風景」、第2回帯広美術協会展に「作品」、第32回独立美術協会展(独立展)に「三人(板・足・頭)」を再出品、初出品した「一人」が初入選。

**大学紛争始**・1965 = 28歳 : 鹿追町内のゆかり食堂で初の個展を開き、NHK帯広放送局制作の農村番組で紹介され、帯広画壇との交流が深まり、帯広市内の喫茶珈琲園で個展。帯広市民劇場第16回公演美術展に「ゴミ箱」「一人」「集う」を、第4回独立選抜展に「飯場の風景」を、第20回全道展に「馬」を出品し、第33回独立展で「馬」と「死馬」が入選し、新入室に陳列される。

**いざなぎ景気**1966 = 29歳 : 兄が北海道教育大学旭川校の教授になる。\*第5回独立選抜展に、腹を割かれた「牛」を出品、モノクローム画面上の赤が印象的で、その後は豊かな色彩が爆発する。第21回全道展に「牛」「馬」「静物」を出品し、「静物」が会友賞となり同展会員に推挙される。帯広市内の弘文堂画廊で個展、「牛」を含む14点を展示。義父の依頼で「開拓の馬」を制作。絵馬として北鹿追神社に奉納される。帯広市民劇場で園田郁夫、おおとひでおと3人展を開催。第34回独立展に「静物」「画室A」を出品し、入選した「画室A」は、カラフルな(画室シリーズ)の最初の作品。。力強い作品が、高い評価を受けるようになり、この年、然別湖畔ホテル福原荘の依頼で「静物」を描いたのを皮切りに、この頃から小品も制作し、絵の収入でトラクターの買料を支払うようになる。

**美濃部都知事**1967 = 30歳 : 十勝日報の新春画信に「原野に生きる」を寄稿。自動車運転免許を取得。帯広市民劇場第37回公演全十勝美術展に「画室D(画室A・画室B)」を出品。帯広市内の弘文堂画廊で個展。NHK札幌放送局(この地に生きる"鉄と絵筆")で紹介される。第6回独立選抜展に「画室C」、第22回全道展に「画室D」を出品。十勝帯広地区全道展作家展の結成に参加。第35回独立展に「画室E」が入選し、新入室陳列、4年連続の入選で会友となる。

**霞ヶ関ビル**・1968 = 31歳 : 長女絵里子誕生。中古自動車を購入。帯広市内の画廊喫茶ウィーンで十勝の独立展出品作家による6人展を開催。{人と牛}シリーズの制作に入り、第43回平原社展に「人と牛A」、第36回独立展に「人と牛C」、第23回全道展と第1回北海道秀作美術展に「人と牛D」を出品したほか、第2回十勝帯広地区全道展作家展に「晴れた日の風景」、帯広市民劇場第62回公演全十勝美術展に「画室」を出品。\*帯広信用金庫からカレンダールの原画制作を10年契約で依頼されるなど、画業がますます盛んになって、自宅西側に5坪のアトリエを増築。

**全共闘ビル**・1969 = 32歳 : 帯広市内のうつけがわ画廊で個展。帯広三奈高校新聞に「私の人生観」を寄稿。平原社春季展に「静物」、第44回平原社展に「作品」、第8回独立選抜展に「壁と顔」を出品。初めて上京。北海タイムスに「生命の痕跡」を寄稿。第24回全道展に「作品B」を出品。友人の小川敬信、松本竹敏と阿寒町、弟子屈町方面にスケッチ旅行。第3回十勝帯広地区全道展作家展に「作品C」「作品D」を出品。第37回独立展に「人間B」を出品。NHK帯広放送局の依頼により「若者の素顔」のための背景画ほか、イラスト12点を制作。

**大阪万博**・1970 = 32歳 : 平原社春季展に「静物」を出品。この頃から体調不良の兆しが出始める。NHKラジオ{土曜随想}のために「然別湖と釣り人達」を執筆し放送。発熱が続き、解熱剤を服用しながら、25周年記念全道展帯広巡回展準備に奔走、同展カタログに、「結局、どう云う作品が生れるかは、どう云う生きかたをやるかにかかっている。どう生きるか、の指針を描くことを通して模索したい。どう生きるか、と、どう描くかの終りない思考のいたちごっこが私の生活の骨組なのだ。機械文明のあおりを受けて人々が既成品的生活を強いられるなかで、クリエイティブな我々の仕事は既成品的人生へのささやかな反逆かも知れない」と記した。\*25周年記念全道展に出品した「室内風景」は、新聞が壁と床一面に張られた部屋で、男が一人うずくまっている印象的な絵で、最後の展覧会出品作であるとともに、没後に全国的な注目を浴びるきっかけとなるだけでなく、友人と札幌に赴き、丸井今井本店の{ベン・シャーン展}を観覧するなどして、新たな境地に踏み出そうとしていた矢先、新得町の病院に入院、一時帰宅許可があり自宅へ戻るが、容態が悪化し、清水赤十字病院内に転院、腎盂炎による敗血症で没した。未刊の絶筆「馬」は、腰からは緻密に描かれているのに、後ろは全く描かれておらず、完成した作品のようにも見え、彼の作品を愛する人たちによって、1993年、鹿追町に開館した神田日勝記念館(のち神田日勝記念美術館に改称)のロゴマークになっている。

鹿追町神昭寺において全道展葬執行。第38回独立展に「室内風景」が出品され、宗左近や中野中、和多田進らの眼に留まる。第3回北海道秀作美術展にも同作が出品される。兄一明は、49日の法要で、日勝の親友米山将治と激しい口論に及んだ結果、未亡人ミサ子に「米山なら大丈夫」と、彼を遺作の後見人に推挙して身を引いた。その年、東京都内の柳屋画廊で開催{神田日勝遺作展}についての、宗左近の論評「北辺の農民画家・神田日勝」が{時代}創刊号に掲載され、画業評価の端緒となったのを皮切りに、北海道以外でも展覧会が開かれ、何冊か画集や評伝も刊行されるなど、その評価は、年を追って高まり、ついには、2019年に放送されたNHK連続テレビ小説{なつぞら}の山田天陽のモデルとなった。